

MIDI CAPTAIN

MIDI command controller

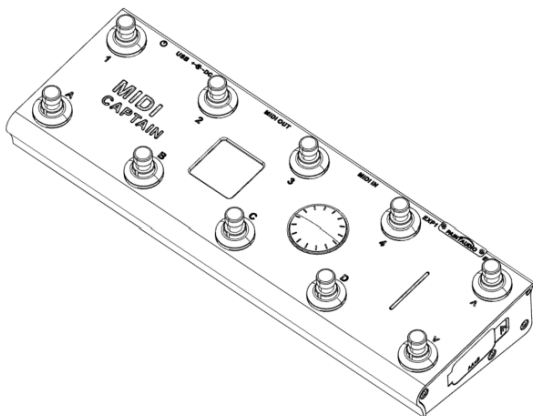
Supports PC/CC/NOTE/SystemEx/SystemCommon/
RealTime commands (MTC and MIDIClock not supported)

Unique time engine control function

Equipped with two-way communication of KPP
LEVEL1 and LEVEL3

FW5.0 Firmware

Ver 3.0 (2026-5)

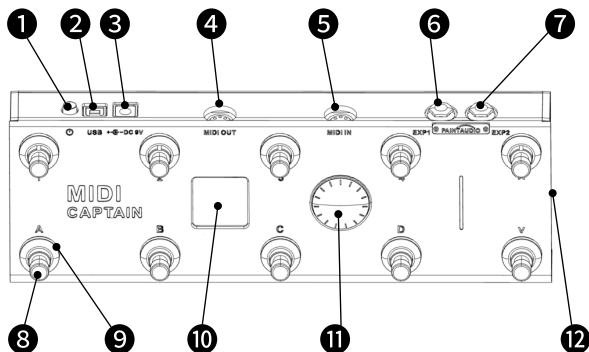



PAINTAUDIO

This manual is updated continuously with products, for reference only.

Note: Content may not fully match the internal firmware version of the device .

1 Interfaces and Controls



1. 電源スイッチ

2. 電源／データポート

3. 補助電源ポート:9～12V入力。各種極性のエフェクター用電源に対応

4. MIDI OUT:MIDI出力ポート。他機器のMIDI INへMIDIケーブルで接続

5. MIDI IN:MIDI信号、MIDI THRU機能などの入力を受信

6. 3線式エクスプレッションペダル1端子

7. 3線式エクスプレッションペダル2端子

8. フットスイッチ10個:1 / 2 / 3 / 4 / A / B / C / D / ▲ / ▼

9. 10個のインジケータリング。機能や設定に応じて色を調整可能

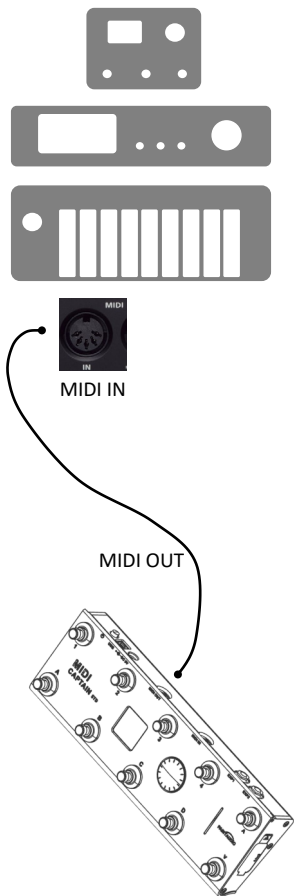
10. 1.54インチ 240×240 24bitカラーディスプレイ

11. ロータリーエンコーダー(押しボタン付き)

12. バッテリー収納部:単3形2本。ニッケル水素充電電池またはLR6アルカリ電池推奨

注:Port 2、Port 3、バッテリー収納部は、単独または組み合わせて給電できます。

Application Example 1: Hardware



MIDI IN端子を備えた多くのハードウェア機器をコントロールできます。デスクトップ型マルチエフェクター、アンプ、キーボード、シンセサイザー、音源モジュールなどに対応します。

対応例：

Line6 HX Stomp

Quad Cortexシリーズ

BOSS GT1000Core(変換ケーブル必要)

Fractal AXE FX2 / AXE FX3 / FM3

Eventide H9

Kemper Profiler Power Head / Rack

Hotone Ampero One Stomp /

II Stomp、FLAMMA FX200、

MOOER GE250、

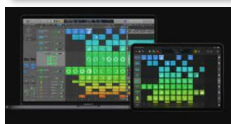
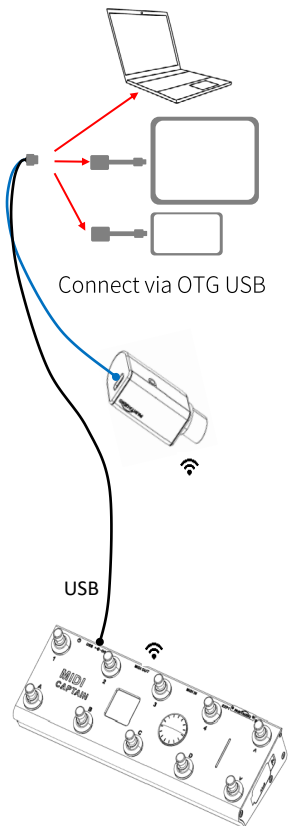
HeadRush Gigboard /

MX5(変換ケーブル必要)、

LINE6 POD HD PRO X、

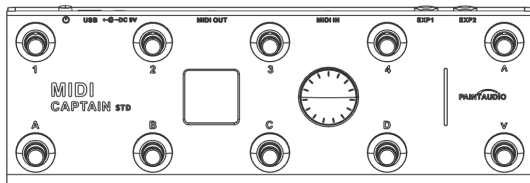
各種キーボード／電子ピアノなど。

Application Example 2: Software



USB OTGでPC、タブレット、スマートフォンなどに接続します。USB MIDI経由で、ほぼすべてのプロ用オーディオ/エフェクト録音ソフトウェアをコントロールできます。

2 MODEセレクション



- スイッチ「1」を押したまま電源を入れる:USB Setupモード。

内蔵ストレージから詳細設定を行います。

- スイッチ「A」を押したまま電源を入れる:SuperMode 5.0。

- スイッチ「2」を押したまま電源を入れる:GeekMode。

- スイッチ「3」を押したまま電源を入れる:KPP LEVEL1/2双方向通信。

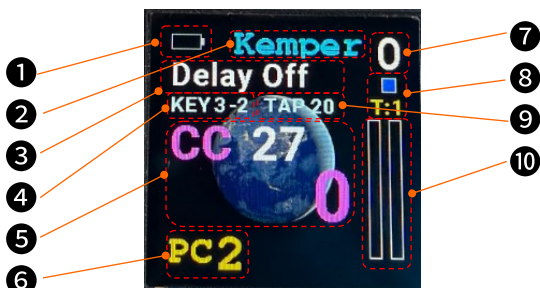
BANK範囲1～10。接続が有効な場合、TAP長押しでチューナーを呼び出し、KPPのチューナーデータを表示します。

- スイッチ「C」を押したまま電源を入れる:KPP LEVEL3双方向通信。

BANK範囲1～125。接続が有効な場合、TAP長押しでチューナーを呼び出し、KPPのチューナーデータを表示します。

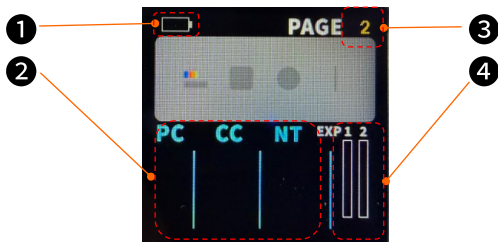
3 ディスプレイ解説

3.1 SuperModeディスプレイ

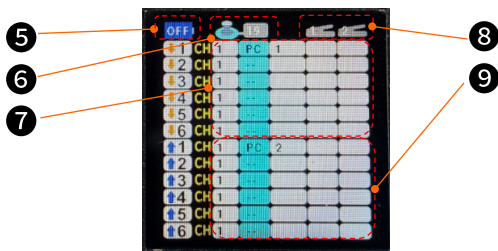


1. バッテリー残量表示
2. プリセット名:USB設定で編集可能、最大6文字
3. 現在のコマンド名:USB設定で変更可能
4. キー状態
5. リアルタイム送信コマンド表示
6. 現在のパッチ番号:Program Changeで制御
7. 有効プリセット番号:初期設定では右端2キーの長押しで切替
8. タイムエンジン関連情報
9. TAPテンポ表示:起動時の初期値は208 BPM
10. エクスプレッションペダルコントロールゲージ

3.2 Geek MODEディスプレイ



Main



Setup

メイン画面: 1. バッテリー状態

2. リアルタイム送信コマンド

3. 現在ページ番号

(右端2キー=未保存、ロータリーエンコーダー=次回起動時も保存)

4. エクスプレッションペダル状態。

設定画面:5. バッテリー充電スイッチ

6. 主LED色

7. キー押下時のコマンド設定(最大6コマンド)

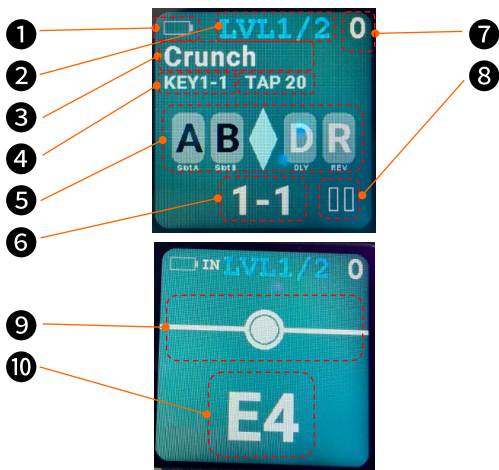
8. エクスプレッションペダルCC番号

9. キーを離した時のコマンド設定(最大6コマンド)。

GeekModeでは対象キーを押してからエンコーダーを押すと

設定ページに入ります。同じキーをもう一度押すと設定を終了します。

3.3 KPP Modeディスプレイ

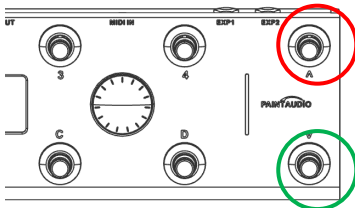


1. バッテリー状態
2. プリセット名 (USBモード上で編集可能、最大6文字)
3. 現在のKPP Tone名
4. キーステータス表示
5. 現在のKPPモジュール状態 (白=ON、黒=OFFまたは待機)
6. 現在のパッチ番号 (Program Changeで制御)
7. 有効プリセット番号 (初期設定ではキー1/2長押しで切替)
8. エクスプレッションペダルステータス
9. チューナー画面 (初期設定ではTAP長押しでチューナー起動)
10. ピッチ表示。

4.基本操作

4.1 設定ページの切り替え

4.1.1 SuperMode / KPP双方向モードそれぞれのページ切替方法:

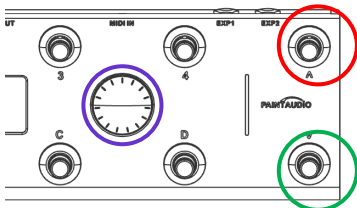


SuperModeおよびKPP双方向通信モードでは、初期設定で右端の2つのフットスイッチ(▲ / ▼)を長押しすると、設定ページを切り替えることができます。この動作は、USB詳細設定で変更できます。ページ切り替えに使用するコマンドは以下のとおりです。

ページを進める: [preset][value_inc]

ページを戻す: [preset][value_dec]

4.1.2 GeekModeでのページ切り替え



GeekModeでは、右端の2つのフットスイッチ(▲ / ▼)またはエンコーダーダイヤルを使って、設定ページを切り替えることができます。

▲ / ▼スイッチでページを切り替えた場合選択したページは保存されず、次回起動時には引き継がれません。エンコーダーダイヤルでページを切り替えた場合選択したページが保存され、次回起動時そのページから開始します。

4.1.2GeekMode/パラメーター設定



エンコーダーダイヤルを回して、設定するパラメーターを選択します。エンコーダーを押すと設定モードに入り、もう一度押すと設定を終了し、自動的に保存されます。設定項目は、以下の順番で表示されます。

MIDI Channel → Command Type(PC / CC / Note)
→ Value 1 → Value 2 → Auto Reverse Value 2
(CC / NTのみ)

※「Auto Reverse Value 2」は、CCまたはNote(NT)コマンド使用時のみ設定可能です。

5 Time Engine 使用方法

Time Engineは、音声を録音・再生するルーパー機能ではありません。演奏中のフットスイッチ操作とそのタイミングを記録し、同じタイミングで自動実行する機能です。例えば、曲に合わせて「A → B → D → C」と音色を切り替えて記録すると、次回からはTime Engineを再生するだけで、記録したタイミングに合わせて音色が自動的に切り替わります。

1. Time Engine用のキーを設定します。

USB設定で、Record（操作記録開始）、Stop（停止）、Play（再生）などのコマンドを任意のキーに割り当てます。

2. 伴奏を準備します。

再生位置を合わせやすくするため、伴奏の冒頭にカウント（予備ビート）を設けることを推奨。

3. 使用するフットスイッチを設定します。

各フットスイッチに音色切り替えなどの操作を割り当て、最初に使用する音色（例：A）を選択します。

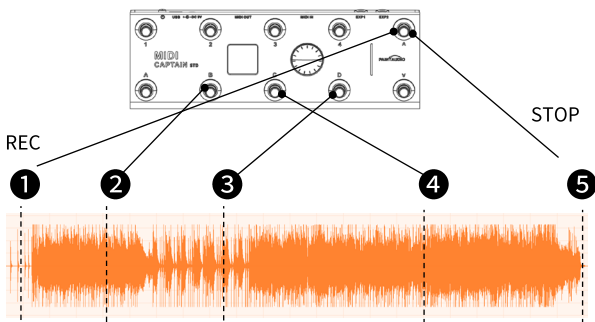
4. スイッチ操作を記録します。

伴奏の決めた位置でRecordを押し、演奏しながら必要なタイミングで音色を切り替えます。【Record → B → D → C → Stop】

記録されるのは音声ではなく、各スイッチを操作したタイミングです。

5. 記録した操作を再生します。

同じ開始位置でPlayを実行すると、B → D → Cの切り替えが、記録したタイミングで自動的に実行されます。



そのまま通常どおり演奏しながら、必要なタイミングでフットスイッチを操作します。

❶ Record: 操作記録を開始

❷ B: 音色Bへ切り替え

❸ D: 音色Dへ切り替え

❹ C: 音色Cへ切り替え

❺ Stop: 操作記録を終了

このときTime Engineが記録しているのは、ギターや伴奏の音ではなく、「Record開始から何秒後にBを押したか」「その何秒後にDを押したか」といったキー操作とタイミングです。

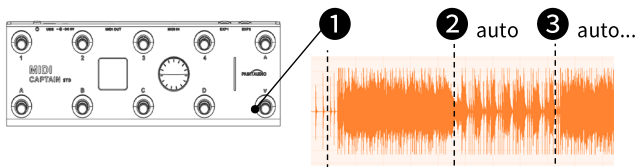
5. 記録したスイッチ操作を自動再生します。

2回目以降は、録音時と同じタイミングでTime Engineの「Play」を実行します。すると、

Play開始 → Bへ切り替え → Dへ切り替え → Cへ切り替え

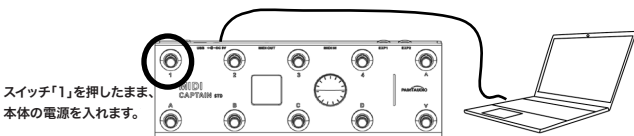
という一連の操作が、記録したタイミングに合わせて自動的に実行されます。

そのため、演奏者は曲中で毎回B、D、Cのフットスイッチを踏む必要がなくなります。



6 USB Setup

本体で行う通常の設定に加えて、USB詳細設定モードでは、より高度な機能を設定できます。パソコンに接続すると、新しいUSBストレージドライブが表示され、その中に各種設定ファイルが保存されています。USB詳細設定モードに入るには、スイッチ「1」を押したまま本体の電源を入れます。macOSを使用する場合は、ドライブが認識されたあと、何も操作せず約1分間待ってください。また、接続中に突然電源を切らないでください。システムによって非表示のゴミ箱フォルダなどが作成される場合があります、突然電源を切るとシステムファイルが破損して、本体が起動できなくなる可能性があります。起動できなくなった場合は、ファームウェアをアップデートすることで復旧できます。



USB詳細設定モードに正常に入ると、左図の状態になります。パソコン上に、**「MIDICAPTAIN」**という名前のUSBドライブが表示されます。

下図のように「MIDICAPTAIN」ドライブが表示されれば、USB詳細設定モードへの移行は完了です。



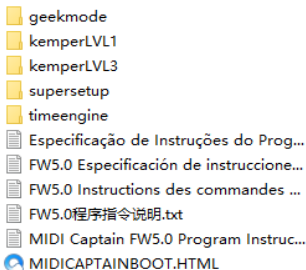
「MIDICAPTAIN」ドライブを、通常のディスクやフォルダと同じようにダブルクリックして開きます。

ドライブを開くと、右図のようなフォルダとファイルが表示されます。

「geekmode」「kemperLVL1」

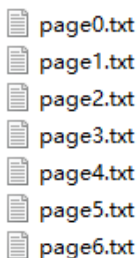
「kemperLVL3」「supersetup」の

各フォルダには、それぞれのモードで使用する設定ファイルが保存されています。



7 USB Setup 設定

7.1 設定ページの作成ルール



各モードに対応するフォルダを開くと、**「pageX.txt」**という設定ファイルがあります。各ファイルには、それぞれの設定ページの内容が保存されています。

設定ページは、必ず**「page0.txt」から番号順に作成してください。*

page0.txt → page1.txt → page2.txt → ...

途中の番号を飛ばしたり、ファイル名を変更したりすると、ファイルを正しく読み込めなかったり、システムが正常に動作しなくなる場合があります。

作成できるページは、page0.txt ~ page99.txtです。

7.2 グローバル設定キーワード

●page_name = [kemper]

ページ名を設定します。最大6文字まで設定できます。

●ledbright = [80]

LEDの明るさを設定します。

設定範囲:0~100

●screenbright = [80]

ディスプレイのバックライトの明るさを設定。

設定範囲:0~100

●long_press_timing = [1]

長押しとして認識するまでの時間を設定。

設定値:1 / 2 / 3秒

●WIRELESS_2.4G = [on]

2.4GHzワイヤレス機能のON/OFFを設定。

設定値:on / off

●WIRELESS_ID = [8]

ワイヤレスIDを設定します。

設定範囲:0~99

●WIRELESS_dB = [6]

ワイヤレスの出力レベルを設定。

設定範囲:0~14

●BATTERY_CHARGE = [off]

バッテリー充電機能のON/OFFを設定。

設定値:on / off

●group_number = [6]

PC(Program Change)コマンドの

グループ数を設定します。

設定範囲:3~10

●display_number_ABC = [abc6]

PCコマンドの番号表示形式を設定。

設定値:123 / abc3 / abc4 / abc5 /

abc6 / abc7 / abc8 / abc9 / abc10

123:PCコマンドを数字のみで表示します。

abcX:数字+アルファベットで表示します。

数字はグループ番号、アルファベットは現在の

グループ内で対応する音色を表します。

●display_bank_offset = [1]

PC番号の表示を0から始めるか、1から始める

かを設定。

設定値:0 / 1

●pc_open_num = [0]

電源を入れたときに表示するPC(Program Change)番号を設定します。

設定範囲:0~127

●PC_Bank_Select = [4]

127を超えるPC(Program Change)番号を扱う場合の、PCバンク数を設定します。

PC_group_0 = [1][CC][0][0]

接続するエフェクターなどが127を超える音色/プリセットに対応している場合に使用します。

PC_Bank_SelectでPCバンク数を設定し

PC_group_Xにバンク切り替え用のMIDI

コマンド(通常はCC)を設定します。最大10

バンク0~1279の最大1280音色に対応します。

コマンドについては、接続する機器の取扱説明

書またはMIDIコマンドリストを確認してください。

最大10グループ、0~1279の最大1280音色

に対応します。

●CC_value_gropnumber =

[3][2] [10][10]

CCautoBankを使用するためのグループを

設定します。

各グループは2つの値で構成され、CCautoBank

で使用するCCグループを設定します。各グループ

は2つの値で構成され、1つ目がCC番号、2つ目が

グループ内で使用する値の数を表します。

●tapcountMIN = [20]

TAPカウントの最小値を設定します。

●tapcountMAX = [200]

TAPカウントの最大値を設定します。

●midithrough = [on]

受信したMIDI信号をMIDI OUTへ送るMIDI THRU機能のON/OFFを設定します。

●externalmidicontrol = [on]

外部MIDI機器からMIDI CAPTAINをコントロールする機能のON/OFFを設定します。

設定値:on / off

●externalmidicontrolch = [16]

外部MIDIコントロールを受信するMIDIチャンネルを設定します。

設定範囲:1~16

●encoderCH = [1]

エンコーダーダイヤルで使用するMIDIチャンネルを設定します。

設定範囲:1~16

●encoderCCnum = [7]

エンコーダーダイヤルを回したときに使用するCC番号を設定します。

設定範囲:0~127

●encoderkeyCCtoggle = [65]

エンコーダーダイヤルを押したときに送信するCCトグルコマンドのCC番号を設定します。

押すたびにCC値を切り替える操作に使用。

●exp1_CH = [1]

Expression Port 1で使用するMIDIチャンネルを設定。

●exp1_CC = [1]

Expression Port 1で使用するCC番号を設定。

●exp2_min = [0]

Expression Port 2から送信するCC値の最小値を設定します。設定範囲:0~127

●exp2_max = [127]

Expression Port 2から送信するCC値の最大値を設定します。設定範囲:0~127

※Expression Portの設定項目については、現在メーカーにてマニュアルを修正中です。正式な仕様が確認でき次第、本マニュアルも更新いたします。

7.3 ボタン設定ルール

各フットスイッチの動作、LED、押し方(短押し/長押しなど)を設定します。

■ ボタンの指定

[key1] [key2] [key3] [key4] [key5] 上段のボタンを左から順に指定します。

[keyA] [keyB] [keyC] [keyD] [keyE] 下段のボタンを左から順に指定します。

■ ボタンの切り替え回数

keytimes = [1] 1つのボタンで動作を何段階切り替えるかを設定します。

設定範囲: 1~10

■ LEDの動作

ledmode = [normal]

設定値: normal / tap / select / select1 / select2 / select3 / select4 / select5

normal: 設定した動作と現在のサイクルに応じてLEDを点灯

tap: TAP BPMに合わせてLEDを点滅

select: グループ内で現在選択されているボタンのみ点灯し、その他のボタンのサイクルを「1」に戻します。

■ LEDの色

ledcolor0 = [0x00FFFF][0x00FFFF][0x00FFFF]

電源投入時のLED色を設定します。色の指定にはRGB888形式を使用します。

ledcolor1 = [0x00FFFF][0x00FFFF][0x00FFFF]

ledcolor1~ledcolor10で、各サイクル時のLED色を設定します。

■ ボタンを押したときの動作

short_dw1_name = [XXXX]

サイクル1でボタンを押したときに表示する動作名を設定します。

short_dw1 = [1][PC][auto3][-]

サイクル1でボタンを押したときに実行するMIDIコマンドを設定します。

1回の操作につき、最大16個のコマンドを連続して設定できます。

■ 押し方による4種類の動作

各サイクルには、次の4種類のボタン操作を設定できます。

【短押し→short_dwX】【長押し→longX】【短押しして離す→short_upX】

【長押しして離す→long_upX】

それぞれの表示名は、short_dwX_name / longX_name / short_upX_name / long_upX_nameで設定します。

短押しと長押しに別々の機能を割り当てる場合は、short_upX と longX を使用してください。

これにより、短押しと長押しのコマンドが互いに干渉するのを防げます。

```
[key1]
keytimes = [1]
ledmode = [select]
ledcolor0 = [0x00FFFF][0x00FFFF][0x00FFFF]

ledcolor1 = [0x00FFFF][0x00FFFF][0x00FFFF]
short_dw1_name = []
short_dw1 = [1][PC][auto3][-]
```

7.4 エディター

FW5.0では、専用エディターを使用して設定ファイルを作成できます。

エディターはPaintAudioの下記のリンクからダウンロードできます。

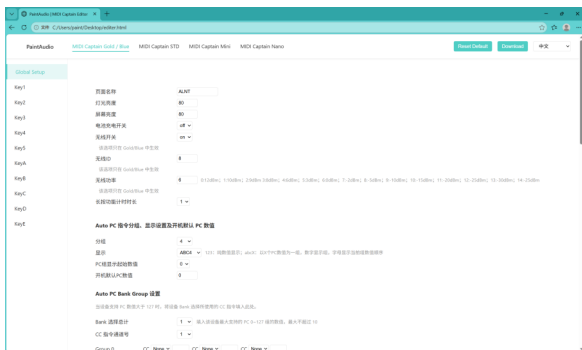
<https://paintaudio.com/pages/surports>

エディターで設定を編集したら、Downloadボタンをクリックします。設定内容を反映したpage0.txt が自動的に作成されます。

必要に応じて pageX.txt にファイル名を変更し、使用するモードのフォルダへコピーします。その後、MIDI Captainを再起動すると設定が反映されます。

※エディターで設定できるのは基本的なコマンドのみです。

SysExおよびHIDコマンドを使用する場合は、pageX.txtを直接編集して設定する必要があります。



8 SuperMode コマンド入力例

8.1 PC (Program Change) コマンド

8.1.1 基本形式 [1][PC][0][-]

[MIDI Channel][PC][Command Parameter][-]

8.1.2 拡張コマンド例

[1][PC][bank_inc][-] グループを進める

[1][PC][bank_dec][-] グループを戻す

[1][PC][auto0][-] グループ内の値を指定(auto0～auto9)

[1][PC][value_inc][-] PC値を増やす

[1][PC][value_dec][-] PC値を減らす

8.2 CC (Control Change) コマンド

8.2 CC (Control Change) コマンド

8.2.1 基本形式 [1][CC][10][127]

[MIDI Channel][CC][Code][Value]

8.2.2 拡張コマンド例

[1][CC][43][bank_inc] グループを進める

[1][CC][43][bank_dec] グループを戻す

[1][CC][43][auto0] グループ内の値を指定(auto0～auto9)

[1][CC][43][value_inc] CC値を増やす

[1][CC][43][value_dec] CC値を減らす

8.2.2 CC Auto Tap

[1][CC][43][autotap]

TAP操作の間隔を自動計算し、対応するCC値に変換して送信します。

使用するには、ledmode=[tap]、tapcountMIN、tapcountMAXの設定が必要です。

8.3 NOTE コマンド入力例[1][NT][64][127]

[MIDI CH.][NT][ピッチ][ベロシティ]

8.4システムエクスクルーシブ

入力例 [SysEX][01][00][11][20][30][33][127][END]

[SysEX][0x01][0x00][0x11][0x20][0x30][0x33][0xFF][END]

SysEx(System Exclusive)メッセージを送信します。

1コマンドは最大50データまで入力でき、最後に必ず [END] を付けます。

10進数はそのまま入力し、16進数は 0x を付けて入力します。

※注意: SysExで操作できる機能は、接続機器のMIDI仕様によって異なります。

再生/停止なども必ずしもSysExとは限りません。使用するSysExデータは、接続機器のMIDI仕様書を確認してください。

8.5Presetコマンド

[preset][value_inc] 設定ページを進める

[preset][value_dec] 設定ページを戻す

8.6Time Engineコマンド

[timeengine][value_inc] トラックを進める

[timeengine][value_dec] トラックを戻す

[timeengine][0] 指定したトラックへ移動

[timeengine][begin] 再生

[timeengine][stop] 停止

[timeengine][record] 操作記録を開始

※ここでの record は、前述のとおり音声録音ではなく、フットスイッチ操作とそのタイミングの記録です。

8.7.1HIDコマンド(キーボード操作)

パソコンのキーボード操作をMIDI CAPTAINから実行するためのコマンドです。

[HID][send][A][END] 「A」を入力

[HID][press][A][END] 「A」キーを押す

[HID][release][A][END] 「A」キーを離す

[HID][delay][50][END] 50ms待機

操作キーワード: send / press / release / delay

HIDコマンドは、最後に必ず [END] を入力します。

修飾キーを除き、1コマンドにつき最大6キーまで指定できます。

8.7.2文字・数字

[A]～[Z] 英大文字

[a]～[z] 英小文字

[0]～[9] 数字

入力例 [HID][send][P][a][i][n][t][END]

→ Paint と入力します。

※アルファベットは大文字／小文字を自動判別します。

8.7.3修飾キー

使用できる修飾キー：

[shift] [ctrl] [alt] [windows] [option] [command]

※修飾キーを含むコマンドでは、アルファベットの大文字／小文字は区別されません。

8.7.4ファンクションキー

使用できる主なキー：

[tab] [backspace] [space] [esc] [enter] [delete]

[home] [page_up] [page_down] [up] [down] [left] [right]

[F1]～[F12] [mouse_L] [mouse_R]

8.7.5 マルチメディア操作

[vol_up] [vol_down] システム音量を上げる／下げる

[play_pause] [stop] 再生／一時停止／停止

[prev_track] [next_track] 前のトラック／次のトラック

8.8 CCTコマンド

CC値を0 / 127で交互に切り替えて送信するトグルコマンドです。

[1][CCT][12][127] 初回127 → 次回0

[1][CCT][12][0] 初回0 → 次回127

※CCTはkeytimeを1つだけ使用します。LED表示は変化せず、現在の値は画面上にのみ表示されます。

8.9 System Commonコマンド

Song Position Pointer

[SysCmn][SongPP][100] 100 MIDI Beatへ移動

[SysCmn][SongPPinc][-] Song Positionを進める

[SysCmn][SongPPdec][-] Song Positionを戻す

[SysCmn][SongPPreset][-] Song Positionを0に戻す

Song Select

[SysCmn][SongSelect][1] Song 1へ切り替え

[SysCmn][SongSelectInc][-] Song番号を進める

[SysCmn][SongSelectDec][-] Song番号を戻す

8.10 RealTimeコマンド

MIDI機器の再生／停止などを操作するMIDI System Real Timeメッセージを送信します。

[realtime][start] 再生開始(Start)

[realtime][continue] 続きから再生(Continue)

[realtime][stop] 停止(Stop)

[realtime][systemreset] System Reset

※接続機器が各MIDI Real Timeメッセージの受信に対応している必要があります。

9 外部コントロール

外部MIDI機器からCC/SysExを送信して、MIDI CAPTAINのフットスイッチ、Time Engine、Presetなどを操作できます。

※接続する機器によって、送信できるMIDIメッセージ(PC/CC/SysExなど)が異なります。詳しくは、接続機器のMIDI仕様をご確認ください。

9.1 外部キー操作

Key 1の操作例

CC 1 1 Key 1 短押し(short_down)

CC 1 2 Key 1 長押し(long)

CC 1 3 Key 1 短押し解除(short_up)

CC 1 4 Key 1 長押し解除(long_up)

CC番号 1~5=key1~key5

CC番号 6~10=keyA~keyE

※keytimesが2以上の場合は、long_upまたはshort_upも送信する必要があります。また、押す/離すコマンドの間隔は1msより長く設定してください。

Time Engine/Preset操作

CC 16 127 Time Engine 再生開始

CC 17 127 Time Engine 停止

CC 18 127 Time Engine 操作記録開始

CC 19 value Time Engine トラックを指定して移動

CC 20 value Presetを指定して移動

CC 21 value Key 1のkeytimesを指定(1~10)

keytimes指定:

CC番号 21~25=key1~key5

CC番号 26~30=keyA~keyE

9.1.3 SysExによるLEDカラー変更

入力形式

[SysEx][0x00][0x04][0x10][Key (1-10)][LED1 Red][LED1 Green]
[LED1 Blue][LED2 Red][LED2 Green][LED2 Blue][LED3 Red]
[LED3 Green][LED3 Blue][END]

外部機器からSysExを送信して、MIDI CAPTAINの各キーのLEDカラーを変更します。LEDカラーはRGB888形式を使用します。RGB値を各色(RR / GG / BB)に分け、それぞれの値を2で割って入力します。MIDIデータは0x7Fを超えないようにしてください。

SysExによるLEDカラー変更:入力例

Key 1の3つのLEDをRGB888カラー 0xDEB887 に設定する例

[SysEx][0x00][0x04][0x10][0x01][0x6F][0x5E][0x43][0x6F]
[0x5E][0x43][0x6F][0x5E][0x43][END]

この記述で、Key 1の3つのLEDを指定したRGBカラーに変更します。

10 ファクトリープリセット

10.1 Super ModelにはKemper,Quad Cortex,HX STOMPなどに最適化されたプリセットモードが搭載されています。ページを切り替えてプリセットをお選びいただけます。

page0: Kemper (For Kemper)

dw:TAP CC 30 1 long: Tuner CC 32 127	dw1: A On CC 17 127 dw2: A off CC 17 0	dw1: Delay On CC 27 127 dw2: Delay Off CC 27 0	PC auto E	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto A	PC auto B	PC auto C	PC auto D	dw: BANK DW long: preset-1

page1: DSPn(For DSP nano) ※Quad Cortex Nano

dw:TAP CC 42 127 long: Tuner CC 43 127	dw1: FX1 On CC 37 127 dw2: FX1 Off CC 37 0	dw1: FX2 On CC 38 127 dw2: FX2 Off CC 38 0	dw1: FX3 On CC 39 127 dw2: FX3 Off CC 39 0	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto A	PC auto B	PC auto C	PC auto D	dw: BANK DW long: preset-1

page2: DSPm (For DSP mini) ※Qaud Cortex Mini

dw:TAP CC 44 127 long: Tuner CC 45 127	dw1: preset CC 47 0 dw2: scene CC 47 1 dw3:stomp CC 47 2	dw1: swap1 CC 64 0 dw2:swap 2 CC 64 127	dw1: Gigview On CC 47 127 dw2: GidviewOff CC 47 0	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto A	PC auto B	PC auto C	PC auto D	dw: BANK DW long: preset-1

page3: DSP (For DSP) ※Qaud Cortex

scene A CC 43 0	scene B CC 43 1	scene C CC 43 2	scene D CC 43 3	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto A	PC auto B	PC auto C	PC auto D	dw: BANK DW long: preset-1

page4: DSPsc (For DSP Scene) ※Qaud Cortex Scene

scene A CC 43 0	scene B CC 43 1	scene C CC 43 2	scene D CC 43 3	dw: PC + 1 long: preset +1
scene E CC 43 4	scene F CC 43 5	scene G CC 43 6	scene H CC 43 7	dw: PC - 1 long: preset-1

page5: HLXP (For Line6 HX Stomp Loop)

dw1:snap1 CC 64 0 dw2:snap2 CC 64 1 dw3:snap3 CC 64 2	dw1:play CC 61 127 dw2:pause CC 61 0	dw1: record CC 60 127 dw2:play CC 61 127	dw1:OVD CC 60 0 dw2:undo CC 63 127	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto A	PC auto B	PC auto C	dw:TAP CC 64 64 long: Tuner CC 68 127	dw: BANK DW long: preset-1

page6: HLSN (For Line6 HX Stomp Snap)

dw1:snap1 CC 69 0	dw1:snap2 CC 69 1	dw1: snap3 CC 69 2	dw1:snap4 CC 69 3	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto A	PC auto B	PC auto C	dw:TAP CC 64 64 long: Tuner CC 68 127	dw: BANK DW long: preset-1

page7: FM3S (For FM3 Scene)

dw1:scene5 CC 43 4	dw1:scene6 CC 43 5	dw1: scene7 CC 43 6	dw1:scene8 CC 43 7	dw: PC + 1 long: preset +1
dw1:scene1 CC 43 0	dw1:scene2 CC 43 1	dw1:scene3 CC 43 2	dw1:scene4 CC 43 3	dw: PC - 1 long: preset-1

page8: FM3M (For FM3)

dw1:scene1 CC 43 0	dw1:scene2 CC 43 1	dw1:scene3 CC 43 2	dw1:scene4 CC 43 3	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto A	PC auto B	PC auto C	dw1:TAP CC 15 1 long:Tuner CC 46 127	dw: BANK DW long: preset-1

page9: FM3M (For FM3 Loop)

dw1: play/stop CC 20 1	dw1:undo CC 21 1	dw1:record CC 22 1	dw1:OVD CC 23 1	dw: PC + 1 long: preset +1
dw1:scene1 CC 43 0	dw1:scene2 CC 43 1	dw1:scene3 CC 43 2	dw1:TAP CC 15 1 long:Tuner CC 46 127	dw: PC - 1 long: preset-1

page10: AMPO (For Ampero Stomp)

dw1: FS2 On CC 49 127 dw2: FS2 Off CC 49 0	dw1: FS4 On CC 51 127 dw2: FS4 Off CC 51 0	dw1: FS7 On CC 54 127 dw2: FS7 Off CC 54 0	dw1: FS8 On CC 55 127 dw2: FS8 Off CC 55 0	dw: BANK UP long: preset +1
dw1:scene1 CC 43 0	dw1:scene2 CC 43 1	dw1:scene3 CC 43 2	dw1:TAP CC 76 1 long:Tuner CC 60 127	dw: BANK DW long: preset-1

page11: AMPL (For Ampero Stomp Loop)

dw1:play CC 64 127 dw2:pause CC 64 0	dw1:record CC 63 1	dw1:undo CC 68 1 dw2:OVD CC 67 1	dw1:Scene1 CC 25 1 dw2:Scene2 CC 25 2 dw3:Scene3 CC 25 3	dw: BANK UP long: preset +1
dw1:scene1 CC 43 0	dw1:scene2 CC 43 1	dw1:scene3 CC 43 2	dw1:TAP CC 76 1 long:Tuner CC 60 127	dw: BANK DW long: preset-1

page12: GT1K (For BOSS GT-1K)

dw1:TAP CC 26 auto dw2:tuner CC 22 127	dw1: CC 20 127 dw2: CC 20 0	dw1: CC 21 127 dw2: CC 21 0	PC auto E	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto A	PC auto B	PC auto C	PC auto D	dw: BANK DW long: preset-1

page13: HRSc (For Headrush Flex Prime Scene)

dw1:Scene5 CC 25 127	dw1:Scene6 CC 26 127	dw1:Scene7 CC 27 127	dw1:Scene8 CC 28 127	dw: PC + 1 long: preset +1
dw1:Scene1 CC 21 127	dw1:Scene2 CC 22 127	dw1:Scene3 CC 23 127	dw1:Scene4 CC 24 127	dw: PC - 1 long: preset-1

page14: HRFP (For Headrush Flex Prime)

dw1:TAP CC 64 127 long1:tuner CC 92 127	dw1: Block2 On CC 76 127 dw2: Block2 Off CC 76 0	dw1: Block4 On CC 78 127 dw2: Block4 Off CC 78 0	PC auto E	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto A	PC auto B	PC auto C	PC auto D	dw: BANK DW long: preset-1

page15: ToM1 (For Tone Master Pro)

PC auto D	PC auto E	PC auto F	dw1: FS Mode CC 20 127	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto A	PC auto B	PC auto C	dw1:TAP CC 64 127 long1:TUNER CC 68 127	dw: BANK DW long: preset-1

page16: ToM2 (For Tone Master Pro)

dw1: FS1 CC 21 127	dw1: FS2 CC 22 127	dw1: FS3 CC 23 127	dw1: FS4 CC 24 127	dw: PC + 1 long: preset +1
dw1: FS5 CC 25 127	dw1: FS6 CC 26 127	dw1: FS7 CC 27 127	dw1: FS8 CC 28 127	dw: PC - 1 long: preset-1

page17: IKTX (For ToneX)

dw1: Comp On CC 19 127 dw2: Comp Off CC 19 0	dw1: Reverb On CC 79 127 dw2: Reverb Off CC 79 0	dw1: Delay On CC 80 127 dw2: Delay Off CC 80 0	dw1: Chorus On CC 31 127 dw2: Chorus Off CC 31 0	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto A	PC auto B	PC auto C	dw1:TAP CC 90 127 long1:Tuner CC 9 127	dw: BANK DW long: preset-1

page18: JAMP (For JAMP or other PC software)

dw1: CC 21 127	dw1: CC 22 127	dw1: CC 23 127	dw1: CC 24 127	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto A	PC auto B	PC auto C	PC auto D	dw: BANK DW long: preset-1

page19: BIAS (For BIAS or other PC software)

dw1: CC 80 127 dw2: CC 80 0	dw1: CC 81 127 dw2: CC 81 0	dw1: CC 82 127 dw2: CC 82 0	dw1: CC 83 127 dw2: CC 83 0	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto A	PC auto B	PC auto C	PC auto D	dw: BANK DW long: preset-1

page20: PC20

dw1: PC 5 dw1: PC 15	dw1: PC 6 dw2: CC 16	dw1: PC 7 dw2: PC 17	dw1: PC 8 dw2: PC 18	dw1: PC 9 dw2:PC 19 long: preset +1
dw1: PC 0 dw1: PC 10	dw1: PC 1 dw1: PC 11	dw1: PC 2 dw1: PC 12	dw1: PC 3 dw1: PC 13	dw1:PC 4 dw2:PC 12 long: preset-1

page21: PC4D

PC auto 2A	PC auto 2B	PC auto 2C	PC auto 2D	dw: BANK UP long: preset +1
PC auto 1A	PC auto 1B	PC auto 1C	PC auto 1D	dw: BANK DW long: preset-1

page22: ALCC

dw1: CC 1 127	dw1: CC 2 127	dw1: CC 3 127	dw1: CC 4 127	dw1: CC 5 127 long: preset +1
dw1: CC 6 127	dw1: CC 7 127	dw1: CC 8 127	dw1: CC 9 127	dw1: CC 10 127 long: preset-1

page23: ALCT

dw1: CC 1 127 dw2: CC 1 0	dw1: CC 2 127 dw2: CC 2 0	dw1: CC 3 127 dw2: CC 3 0	dw1: CC 4 127 dw2: CC 4 0	dw1: CC 5 127 dw2: CC 5 0 long: preset+1
dw1: CC 6 127 dw2: CC 6 0	dw1: CC 7 127 dw2: CC 7 0	dw1: CC 8 127 dw2: CC 8 0	dw1: CC 9 127 dw2: CC 9 0	dw1: CC 10 127 dw2: CC 10 0 long: preset-1

page24: ALNT

dw: NT 60 80 NT 64 80 NT 67 80 up: NT XX 0	dw: NT 61 80 up: NT 61 0	dw: NT 62 80 up: NT 62 0	dw: NT 63 80 up: NT 63 0	dw: NT 64 80 up: NT 64 0 long: preset+1
dw: NT 65 80 up: NT 65 0	dw: NT 66 80 up: NT 66 0	dw: NT 67 80 up: NT 67 0	dw: NT 69 80 up: NT 69 0	dw: NT 71 80 up: NT 71 0 long: preset-1

page25: HID

dw1: 字符串	dw1: ctrl+A	dw1: ctrl+V	dw1: vol_up	dw1:vol_down long:preset+1
dw1: play/pause	dw1: prev_track	dw1: next_track	dw1: ctrl+A delay50ms ctrl+C	dw1: F2 long: preset-1

page25: SysM

dw1: realtime start	dw1: realtime continue	dw1: realtime stop	dw1: realtime systemRST	dw1: SongSelect Inc long:preset +1
dw1: SongSelect 1	dw1: SongSelect 2	dw1: SongSelect 3	dw1: SongSelect 4	dw1: SongSelectDec long: preset-1

10. 2 KPP LVL1/2(BANK: 1-10)

page0

dw1: BANK UP long: preset +1	dw1: BANK DW long: preset -1	dw1: SlotA On/Off CCT 17 127	dw1: SlotB On/Off CCT 18 127	dw1: TAP CC 30 1 long1:tuner CCT 31 127
PC auto 1A	PC auto 1B	PC auto 1C	PC auto 1D	PC auto 1E

page1

dw1: BANK UP long: preset +1	dw1: BANK DW long: preset -1	dw1: Delay On/Off CCT 27 127	dw1: Reverb On/Off CCT 29 127	dw1: TAP CC 30 1 long1:tuner CCT 31 127
PC auto 1A	PC auto 1B	PC auto 1C	PC auto 1D	PC auto 1E

page2

dw1: BANK UP long: preset +1	dw1: BANK DW long: preset -1	dw1: SlotA On/Off CCT 17 127	dw1: Delay On/Off CCT 27 127	dw1: TAP CC 30 1 long1:tuner CCT 31 127
PC auto 1A	PC auto 1B	PC auto 1C	PC auto 1D	PC auto 1E

page3

dw1: BANK UP long: preset +1	dw1: BANK DW long: preset -1	dw1: SlotB On/Off CCT 18 127	dw1: Reverb On/Off CCT 29127	dw1: TAP CC 30 1 long1:tuner CCT 31 127
PC auto 1A	PC auto 1B	PC auto 1C	PC auto 1D	PC auto 1E

page4

dw1:SlotA CCT 17 127 long: preset +1	dw1:SlotB CCT 18 127 long: preset -1	dw1: Delay On/Off CCT 27 127	dw1: Reverb On/Off CCT 29127	dw1: TAP CC 30 1 long1:tuner CCT 31 127
PC auto 1A long: BANK DW	PC auto 1B	PC auto 1C	PC auto 1D	PC auto 1E long: BANK UP

10. 3 KPP LVL3 (BANK: 1-125)

page0

dw1: BANK UP long: preset +1	dw1: BANK DW long: preset -1	dw1: SlotA On/Off CCT 17 127	dw1: SlotB On/Off CCT 18 127	dw1: TAP CC 30 1 long1:tuner CCT 31 127
PC auto 1A	PC auto 1B	PC auto 1C	PC auto 1D	PC auto 1E

page1

dw1: BANK UP long: preset +1	dw1: BANK DW long: preset -1	dw1: SlotC On/Off CCT 19 127	dw1: SlotD On/Off CCT 20 127	dw1: TAP CC 30 1 long1:tuner CCT 31 127
PC auto 1A	PC auto 1B	PC auto 1C	PC auto 1D	PC auto 1E

page2

dw1: BANK UP long: preset +1	dw1: BANK DW long: preset -1	dw1: SlotX On/Off CCT 22 127	dw1: Mod On/Off CCT 24 127	dw1: TAP CC 30 1 long1:tuner CCT 31 127
PC auto 1A	PC auto 1B	PC auto 1C	PC auto 1D	PC auto 1E

dw1: BANK UP long: preset +1	dw1: BANK DW long: preset -1	dw1: Delay On/Off CCT 27 127	dw1: Reverb On/Off CCT 29 127	dw1: TAP CC 30 1 long1:tuner CCT 31 127
PC auto 1A	PC auto 1B	PC auto 1C	PC auto 1D	PC auto 1E

11 バックアップ & 復元

MIDI CAPTAINの設定データを保護するため、MIDI CAPTAINドライブ内のすべてのデータをパソコンへバックアップしておくことを推奨します。

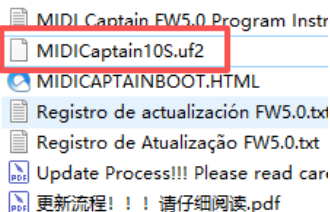
特に、ファームウェアアップデートを行う前には、必ず設定データをバックアップしてください。

バックアップする場合は、MIDI CAPTAINドライブ内のファイル/フォルダをすべてパソコンの任意の場所へコピーして保存します。

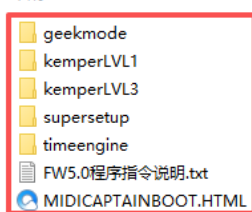
設定を復元する場合は、バックアップしておいた設定ファイルをMIDI CAPTAINドライブへコピーします。FW5.0ファームウェアおよびエディターは、Paint Audioのサポートページからダウンロードできます。

PaintAudio Support

ファームウェアのアップデート方法については、別紙「FW5.0 アップデート手順」を参照してください。



Program File



Configuration File

12 その他の使用上の注意

カスタム設定について

標準設定の範囲を超えるボタン操作やMIDIコマンドを使用したい場合、カスタムファームウェアによって対応できる場合があります。

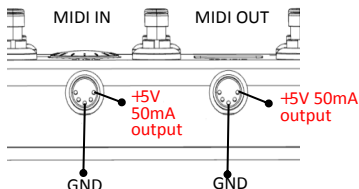
1回の操作で複数のコマンドを送信する場合や、PC/CC/Note以外の特殊なコマンドを使用する場合など、詳細についてはPaintAudioへお問い合わせください。

MIDI端子使用時の重要な注意

MIDI CAPTAINのMIDI端子は、+5V補助電源(最大50mA)を出力する仕様になっています。接続する機器によっては、MIDI端子の+5V電源ピンがGNDに接続されている場合があります。このような機器と5ピンMIDIケーブルで接続すると、MIDI CAPTAINが破損する可能性があります。

安全のため、付属(純正)の3ピンMIDIケーブルを使用してください。

※接続する外部機器のMIDI端子仕様についても、事前に各機器の取扱説明書をご確認ください。



13 製品仕様

Power supply voltage	5V (USB); 9V-12V (Adapter)
Power Supply Current	0.1A - 0.4A (Max LED brightness)
Power	0.5W - 5W (Max LED brightness)
Footswitch	10, fully customizable
Display	240x240 RGB 24bits LCD
Battery	2 AA batteries, Ni-MH or LR6, 6-12 hours endurance
Charging function	250mA automatic charging
MIDI Interface	IN / OUT with 5V 50mA external power output
CPU	200MHz Dual-core
Internal Flash Memory	8M bits
Expression pedal input	2 Channels
Weight	Net weight: 0.75 kg
Dimension	283mm x 90mm x 55mm

14 安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくため、以下の注意事項を必ずお守りください。
誤った取り扱いをすると、感電、火災、故障、けがなどの原因となる場合があります。

- 雷が発生しているときは、本製品の接続や配線作業を行わないでください。
- 湿気の多い場所では使用しないでください。
また、電源コードやコンセントについても、湿気の多い場所での使用に対応したものを除き、そのような環境では使用しないでください。
- ACアダプターを使用しているときは、電源コードやコネクターの金属部分に触れないでください。
- 本製品の設置・接続を行う際は、本書の説明に従って正しく作業してください。
- 本製品を雨や水分にさらさないでください。
火災や感電、故障の原因となる場合があります。
- 蛍光灯や電動モーターなど、電氣的なノイズを発生する機器から離して使用してください。
- ほこり、高温、強い振動のある場所で使用・保管しないでください。
- 直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- 本製品の上に重いものを置かないでください。
また、水などの液体が入った容器を本製品の上に置かないでください。
- 濡れた手でコネクタや端子に触れないでください。
- 本体の金属部分の角やエッジでけがをしないようご注意ください。
また、保護者の目が届かない場所では、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 本製品を3日以上使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 本製品を使用しないときは、USBケーブルやACアダプターなどの電源を取り外してください。